

牛久市文化財保護審議委員 栗原功

東関東(茨城県南地域・千葉県)の盆綱(風俗慣習)が 国の無形民俗文化財指定への答申があった

東猫穴区と田宮山薬師寺の盆綱

盆綱(盆づな引き)の概要

盆綱は、茨城(県南地域)・千葉両県にわたって広く分布する盆行事の一つで、子供たちが藁綱を曳いて墓地から集落の各家の先祖の霊を送り迎える習俗である。本件が平成27年1月開催の国の文化審議会において無形民俗文化財指定への答申を決定した。この習俗は、盆中の先祖祭祀の一端を示し、先祖の霊の依代として龍や蛇に模した藁綱を用いるなど、水神信仰的な性格もみられる。※集落はおおむね江戸時代には村であった。

東猫穴区の「盆づな引き」

— 民間の伝承行事 —

毎年お盆がくると、子供たちが盆づな引きを行う。

この盆づな引きは、6年生のリーダーを先頭にリヤカーを引き、集落内の家々を廻って稲藁

を集める。全戸を歩いてリヤカー一杯になった藁を待機して

いる親達のもとへ持って行く。

親達は子供の数にあわせて長さを決め、しめなわを編むように

して竜の形をつくり、途中でひげを出して「竜」を編む。(編む

人・お父さんたち3人、藁を渡す人・お母さんたち3人、他に

掃除の人数人)

やがて陽も落ちて薄暗くなる

頃に、出来上がった竜を、鉢巻を

した子供たちが引いて墓地に向

かう。墓地に着くと子供たちは、

それぞれの先祖の墓の前で、リー

ダーの号令にしたがって1から

100までを数える。(この間に

仏様に「家に帰る準備をしてください」という意味らしいが、本当のところは誰にもわからない) 数え終えた子供たちは、墓から先祖の霊をめいめい背負い

「これをくり返す。『ノーラッ シュ』とは、先祖の御霊が竜にのるという意味。」

を唱えながら竜に乗せ集落に戻る。そして、集落内をノーラッ シュを唱えながら2周したあと、屋敷

一番池田良一氏宅から順次

オーラッシャイ

オーラッシャイ

ほとけさまオーラッシャイ

を唱えながら一軒ずつ仏様の霊を送り届けて廻り、最後はツマ

(鈴木商店)で終わる。

家々では入学前の子供たちや

お年寄りたちが門のそばや道端

にちようちんを持って立ち、子

供たちを迎え、そして見送る。

子供たち

イチツニツのサン
仏さまを運んできました
お父さん
お母さん
どうもご苦労様
(おこづかいを渡す。子供たちのリーダーが等分にわけると子供たち
(全員で)どうも
ありがとうございました
こうして終わりも近くなると、

時刻も夜の10時を過ぎ、藁集めにスタートしてから8時間以上もたち、歩いた距離も10数キロを越え、疲れて泣き出す子、励ます子、唱える声も小さくなる。無事50数軒の家全てに「御霊」を届け終えると、責任を果たした安堵感と満足感、それに疲労が加わってみんなドツ!と座り込む。
引用は東猫穴誌「里の風土記



東猫穴区の盆づな引き
(平成27年8月の盆づな引き)
※先祖の御霊を竜にのせて家々に届けているところ。
提供：東猫穴区

田宮山薬師寺の盆綱
(蛇祭り)
8月13日午後4時より、『のーらっせのーらっせ ほーとけさまのーらっせ おーんじゃった おんじゃった ほーとけさま おんじゃった』…境内や墓苑を練り歩く子どもたち。『のーらっせ』とは、先祖の御霊が蛇にのるという意味。



田宮山薬師寺の盆綱
— 行事は現代風 —
田宮町の真言宗田宮山薬師寺でも、盆綱が古式にのっとって行われていた。
ご住職によると、『本寺の環境が変貌したため、年号が昭和から平成に改められたころより、お檀家の幼稚園児や小学生、老若男女の方々が参加できるよう、現代風にアレンジして行っている』そうだ。